

事例7：有限会社都工業（特許技術を活用した新規事業の確立を目指す）

新事業創出

ビジネスモデル検討

管理体制強化

知的財産経営実践の概要

解決
したい
課題

出願中の特許技術を用いた製品について、独自事業としてのビジネスモデル検討を行い、事業を着実に離陸させていきたい

- 活動内容や条件等を固めていく必要がある。
- 今後の技術の磨き上げと追加出願（もしくは営業秘密としての秘匿）による権利拡充を考えたい。

専門家によるハンズオン支援

- 現状把握および知財面（ノウハウ管理含む）の対応課題について助言（1回目）
- ビジネスモデルの検討（2回目）
- 事業化に向けた対応事項の検討・整理（3回目）

今後の取組課題

- ✓ 事業計画の磨き上げを継続させ早期の体制構築を目指す。
- ✓ 他者との協働について必要な法務面の準備を並走させる。

ハンズ
オン
支援

事業計画・ビジネスモデルの明確化を目指す
訪問支援：3回

結果
・
成果

知財と連動させた目指すべきビジネスモデルを確認、社内体制・契約面の準備について着手

取組の詳細

- 製品PRコンテンツ、新たなアイデアや技術創出に向けた棚卸、協働先との関係構築に向け法務面の体制・基盤の準備を助言。営業秘密管理の基本的な考え方や対応事項を助言。
- いつでもルームクリーンのマニュアル作成時の注意点等を助言。
- 準備中の契約書ひな形を確認しつつ、事業内容に則した準備の重要性および修正すべき点を助言。
- ビジネスイメージをより明確にし、自社が誰に対していつまでにどのような行動をとるべきかを議論し、今後必要となる取組の方向整理について助言。
- 実現性のある事業計画を協働先へ説明できるように計画練成や知財面の準備を今後の対応事項とすることを確認。



企業の声

自社の知財・ノウハウを守りつつ、現在並行して進めている次なる開発を進捗させ、今後のビジネスモデルの確立に向け取り組んでいきます。今回ハンズオン支援を受けられたことにより、社内でも意識面の変化を感じており、社内体制の強化について取り組んでいきます。今回の支援が始まりだと気を引き締め直し、事業を推進させて行きたいと思えます。

企業概要

業種	製造業（搬送用容器・物流容器製造、空気清浄機の製造・販売）				
住所	愛知県安城市	URL	https://miyako-industry.co.jp/		
創業	1988年	従業員数	12人	資本金	500万円

支援専門家（回数）

支援コーディネータ
弁理士（3）
同行専門家
弁護士・弁理士（2）